



根室釧路網走の単複と學藝大學の撫育所

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 北海道学芸大学 公開日: 2012-11-07 キーワード: 作成者: 田所, 哲太郎 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.32150/00000021

ーラムを作ることである。昨日は10人今日は15人と参加したものが数年後には50人となり70人となるであろう。之と併行してスクウェアダンスもよいであろう。そして之により俗悪なる盆踊りが減少し終に姿を没するに至るときを待つべきである。

劇もよいが古くからある立派な作家によりてなされたものを暗記せしめ充分な練習をやらせる。そして舞台や装身具にあまり力を入ることをさせずにむしろ舞踊に練習を積ませる。歌劇ならば歌謡の訓練を充分やらせる事である。

かゝる村のもよおしものある場合必ず開始には講演講話を以て先きに智識や思想を養うことに心掛けて指導する。文學宗教講座もよい社會科學自然科學の講話もよい。そしてそのあとに音楽會や劇の催を配合する事である。特に留意すべきは生活科學面を強調してひだなき合理的生活を興えることと、育児及び衛生の智識を興え醫學常識と共に清潔な生活を持たしめる。産業面の講話も必要である。農業水産それぞれ村の事情に應じて専門家を通してやる。又時々競技會を學校の運動會に合せてやるのも面白い。例えば男子青年の馬耕もよい女子の稲束ねもよい機織り競争もよいであろう。更にスポーツは勿論學校が中心となりてベースボールをやるに低學年は生徒のみでチームを作らせるが高學年中學ならば村の女子青年と一緒にチームを作らせるも面白い。男子青年チームは二組以上あつて對抗させるか又は他の村のものに挑戦するのだ。學校々庭内に相撲場を設けるのもよい又疊の間を作りレスリングをやるもよい。特に冬の長い北海道で室内運動としてピンポンと共に奨励すべきスポーツである。冬の戶外運動として村の部部落に適するのはスキーである。之も亦學校の先生が指導役となることである。何れもスポーツを通して學ぶことは道義的所謂フェアプレーの精神と敢闘精神と更に規則正しい練習により攝生とを併せ心掛けねば立派な結果がえがたきものであることを教えるのである。

根室釧路網走の單複と學藝大學の撫育所

田 所 哲 太 郎

Tetsuraro Tadokoro : The Education of One Room School in Nemuro, Kushiro and Abashiri and Its Rearing Centre of the Gakugei-University.

未開懇地の多い僻地に建てられている單複學校は北海道の特色であつて、全道の平均にあつても全學校の70%にも及んでいる。然も之を擔當する教官に無資格者の多いことも亦本道教育の特色であつて、全道には約8000人に及んでいる。就中根室釧路網走地區では全教官の50%が無資格者であり、そして一つの學校には3人乃至4人しかいないから2人の有資格者と2人の無資格者でやつている事になる。加うるに定員を充していないのが普通で、10%内外の欠員を持つてゐる學校さえ多い。然も人口一万五千にも足らぬ村中に11校の小中合併學校が3乃至6キロを隔てて建てられている。之を見ては北海道特に道東地區は全く教員の飢饉であり新教育の危期が迫つてゐるとも云える。此問題は校舍不足の問題と併立している。

1. 根室單複學校の現状

九月中旬とは云え雨を含んだ昨今はレインコートに袷服ではやゝ蒸し暑い感がある。一里半の道を鐵路沿に雨にぬれた草を分けて歩くと傘の内外前に後に襲う幾千の蚊のむれは拂えども拂えども去らぬのだ。此地區名物の蚊群と戦いつゝ汗に總身濡れて昆布森の單複學校についたのが正午に近

い頃であつた。幾星霜千島を渡る汐風に吹きさらされた校舎に素朴な姿で謙恭な態度で迎えてくれる先生と教え子の數人の女の子に會つたとき苦勞も忘れた。そして家族と一所にストーブを燃してぬれたコートや服を乾しているとPT會長が新しい大鮭をさけてやつて來た。二三人の村人と共に北海道名物の三平汁を吸いつゝ、教子のサービスを受けて暖い酒をふるまわれうれしい感激に打たれた。そして雨も晴れ太平洋の波もゆるやかに岩壁を洗う頃は一里余の彼方にある大島小島の姿も台場の如く見える美しい風景が古い單複教室の窓から南に展開するのであつた。茲に16坪の一教室は一間の廊下を隔て、先生の住宅の八疊間と連つて建られ30名にも足らぬ生徒を收容して校長先生の奥様が助教である。根室管内(昭和二十三年五月)の小學校中83%は單複で中學校の90%も亦單複である。然も一校平均小學校で三人九分、中學校で二人四分の極めて小さい學校であり、加うるに10%に當る教員の欠員を持つている貧弱な姿には驚かざるを得ない。又教員の質の問題でも極めて憂うべきものがあり、無資格者は小學校では53%、中學校では53%に上つている。就中中標津高等學校の如きは無資格70%に上る。更に驚くべきことは網走で通學不能で就學せぬ子供が村毎に12乃至24人もいる事である。

2、網走釧路單複學校の現狀

釧路も亦根室に匹敵する單複學校の集積地區である。即ち小學校では110校中單複83%を占め中學校も亦76人中の85%が單複である。然も教員數小學校の463人中無資格者は49%であり中學校の195人中45%の多きに達している。同地區内の厚岸町の例を見ると人口一万四千八百人にして一ヶ所の小中學校があり、またその區域中には僅に人口112人にして一個の小中學校を有する所もある。

網走市の例では小學校22校中單複87%中學校12校中89%が單複で然も無資格者が兩種學校教員の68%に達している。更に膽振洞爺村の小さい學校では小學校の四校が二學級一校に就き教員二人二分に過ぎない。然も校舎は建坪60坪乃至97坪である。一中學校の如きは一年二年三年合計21人で校舎40坪の建坪を有するに過ぎない。

3、單複撫育所の由來

北海道全道の70%が單複であり、道東地區では80%以上、時には90%にも上ると云われているこの學校の姿を思い起すとき實に同情に堪えないものがある。鐵路を離れて數十里熊笹深き森の中に地を均して建設した一つか二つの學級しか持たない學校である。教具も圖書もなく、助教と云えば乳兒をかゝえた校長先生の奥様を對象とせねばならぬ心細さである。一面生徒は古びた孔の多いゴム靴をはいて泥濘深い道を一里餘も歩いて通つて來れば足を洗う手配も校長先生には必要である。又雨の日外套のまゝ、すぶぬれの衣服と共に乾かす手順なども校長先生には授業以外の仕事である。時を過して教える時間を失うのを心配する校長先生の姿もあわれで同情に堪えない處である。

役場の呼出に留守を無資格者に依頼して行く校長の心もとなき苦しみが何時救われる、やも知れぬ此姿を見て先生と生徒に愛撫の手を延すべきは藝藝大學として當然の行方である。依つて所々に單複撫育支所を設け大學教官及び學生の宿泊所として、之を中心に單複指導に進むべきであると思う。本年計畫實行した(八雲、根室、空知)移動教室もその一つの目的を達するものと思う。撫育支所は根室、中標津、川湯(釧路)平取(日高)八雲(渡島)狩太等に本年度設置する豫定である。かくて單複教育に撫育の手を延すことは大學の古き先輩や若き卒業生がやがて小さい二宮尊徳となるべき機会と感激とを興えることになるであろうと思う。